

宮崎大学基金寄附のご挨拶

私、文化グループ（株式会社文化コーポレーション、宮崎総合警備株式会社（ALSOK）、社会福祉法人芳生会、株式会社セキュリティロード、齊藤管財株式会社、総合電通株式会社、株式会社 GROUNDSTAR）の代表取締役社長 齊藤総一郎と申します。

文化グループは、1959年（昭和34年）創業以来、創業者 故・齊藤芳春、創業二代目 齊藤幹生相談役、諸先輩方が営々と築いてこられたお客様や地域社会からの信用および信頼を基礎として日々発展成長を続け、様々な問題点を解決できるよう、長期視点、業界俯瞰視点での高い視座、広い視野を通じて、経済価値と社会価値の両方を高め、社会から必要とされるサステナブル企業を目指しており、宮崎県における「安全安心を支える社会インフラの一翼を担う」リーディングカンパニーグループであります。

さて、この度は、宮崎大学基金寄附における感謝状贈呈式を執り行って頂き、誠にありがとうございます。心より深く感謝申し上げます。

宮崎大学基金への寄附をさせて頂いた経緯は、まず、宮崎大学長 鮫島浩 様をはじめとした宮崎大学が、教育理念である「『世界を視野に地域から始めよう』」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探求、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成すること」を掲げ、その理念を具現化するために充実した教育に取り組まれており、より良い教育研究環境の充実を推進し、魅力ある大学づくりを目指し、輝き続ける大学として、一人ひとりが一つひとつ、果敢に挑戦し、努力を積み重ねられていることに共感し、基金への寄附という形での支援を決心した次第でございます。

これからの時代は、“Creative & Competitive”な人財が社会に必要とされています。High Qualityな教育研究に取り組み、その成果を実らせ、社会へ積極的に貢献しなければなりません。

そして、素晴らしい研究や成果は、内にとどめてはなりません。例えば、世界最高のバイオリニストが森の中で一生懸命に素晴らしい音楽を奏でてでも、誰にもその素晴らしい音楽は届きません。その素晴らしいバイオリンの音色を森の中ではなく、世界のステージで聴いてもらって、初めてその価値が生まれます。価値ある研究や成果を世界に発信する場を生み出す支援にご活用して頂ければ幸いです。

これから未来を切り拓く君たちへ。

人の欲望のために金でなんでも買いあさった資本主義は終わり、今は光り輝く未来を創りたいという想いが世の中を動かす時代になっております。

未来は一人ひとりが歩んだ道であり、千差万別です。一瞬一瞬の大切な出会いがあり、



一人ひとりが一つひとつの果敢な挑戦や努力の積み重ねがあって、一人ひとりが光り輝くことができ、その積み重ねが社会の原動力となり、その先にある未来を切り拓いていくことができます。

しかしながら、きっと皆、自分の青さに悩むのだと思います。それは自分に納得がいかないから。結局、自分なんだけど、でも他人を、社会を幸せにしたいから一生懸命なんだと思います。もっと自分が苦手だと思っている所にドンドン出て行って、恥をかいて、悩んで、真剣に感動することを体験したり、本気で泣いたり、本気で笑ったり、本気で怒ったり、自分をいじめたり、とにかくたくさん人生経験を積んで、自然にその中から本当の自分が出てきたら、自分が本当に取り組みたいことや実現したい社会づくりに繋がっていくと思います。

自分との戦いです。いろいろ Try しようよ！

“Dream as if I will live forever. Live as if I will die today.”

今後も微力ながらご支援していきますので、宜しくお願い申し上げます。

令和4年11月2日

文化グループ
代表取締役社長
齊藤 総一郎

